

令和8年度第1回北広島町まちづくり総合委員会 議事録(要旨)

日時：令和8年5月15日(金) 14:00～

場所：北広島町役場本庁 4階 委員会室

1. 開会

2. 開会あいさつ

副町長

本日はご多用の中ご出席ありがとうございます。

本日は重点目標に関してご審議いただき。今後の北広島町の方向性を定めるものである。これまでの調査や委員の皆様のご意見を反映したものになっている。皆様の知見と経験に基づきそれぞれの立場から建設的なご意見をいただきたい。

3. 委員紹介

欠席：栃藪委員、藪委員、長本委員、村口委員、宇川委員、上原委員、池田沙織委員、山城委員、畑中委員、

4. 議事

第3次北広島町長期総合計画の策定について

委員

重点方針の部分ということだが、第3期はこのイメージということで、いままであった内容で重点方針には入らないと考えてよいか。アンケートの将来に望む姿として、「高齢者・障がい者(児)・子どもが安心して暮らせるまち」「災害に強く安全で安心して暮らせるまち」が上位に来ているが、重点から消えてしまったのはなぜか。盛り込んだ方がよいのではないか。

事務局

記載としては落としているが、全てを行っていくという考え方は変わらない。取組としてなくすことはできない中で、前回の部分の安心して暮らすという基本構想の考え方は変わらないが、今回のイメージ

の中では産業や雇用の部分にとがらせるため、あえて1つの項目（働く場の創出と魅力向上）に集約する形に整理している。

委員

重点的に進めていく上で、絞っていくことは重要だと思う。しかし、住民にわかるようにしておかないといけない。いままでの重点方針が抜けるのは構わないが、アンケート上位に入っているものが抜けてしまうのはどうかと思う。

委員

重点施策については、大きな目標を達成するための方法だと思うが、将来像は変わらないのか。順番として大きなゴールを決めておかないといけないのではないか。

事務局

決めてしまっているわけではないが、ある程度前提として置いている部分はある。前回計画の将来像を是とした際に、どのような施策が打てるかという案出しをしている状態。

委員

前回ブランディングという話をしたことはまさにここなのではないか。先に大きなゴールとして将来像を話し合うべきではないか。順番として反対なのではないか。

事務局

将来像についても議論いただければよいと思う。

委員

これから大きく変わっていくためには、新しいキャッチーなものにする必要があるのではないか。

委員

例えばどういうイメージがあるか。

委員

北広島という文字がなければ他の自治体が変わっても成り立ってしまう。

この町は人は確かに魅力だし、みんな自然にも魅力を感じているのではないか。

委員

ファン化というものが印象的だった。内からでも外からでも良いが、住んでいる人が何もなければなく、水がいい、教育がいいなど、町民が北広島町を好きで自慢できれば外から見ても魅力がある。

関係人口と移住人口と一緒にされているので、もっと強くキーワードにして「誇りがまちを動かす」などのキーワードがある方がよいのでは。

みんながパッとみたときに腹落ちするように、ブランディングするときも勢いをつけながらできるのではないか。

委員

他の委員からも意見を聞くとなると、もう1ステップを挟まないといけないが、挟む余地はあるか。

事務局

現状の将来像を定めた当時は、ある程度議論が進んだ段階で決まったものだった。ある程度全体整理する中で人というところに焦点をあてていこうということならそれをイメージできるものにしていく。現在は綺麗にまとめないにしても、人ということに重点をあてながら進める方向で考え、最終的に整理をするという方法もあるのではないかと思う。

委員

ステップというのはどういうイメージか。いま人というキーワードが出てきていたり、他にもこれから大切にしていかなければならないものをイメージしようと、それを達成するための重点施策を考えようというのは良いと思う。

人というのは出てきたが、千代田でいえば広島からの距離感なども大切である。今後いろんなロケーションがある中で大切にしていけるキーワードでもよいが、出していくのも良いのではないか。

委員

いままでアンケートやヒアリングなどで、象徴するような将来像を見せてくれるような議論やキーワードでどういったものが出てきていたか。いままでになかったものはあったらどうか。

それが委員の考えと住民の考えで変わらないということであれば、ここで話を進めてよいのではない

か。委員が住民を代表しうるのか確認したい。

事務局

キーワードと言われると、いままでの計画がだめだったわけではないと考えてしまう。変わったキーワードが出てきていると言われるとないかと思う。

この会議で出る意見は大事にしたい。

個人的なイメージでは、型を作って決めていくよりは、重点を作りながら将来像を決めていくことも良いのではないかと考えている。

委員

ワークショップをやって、「こんなまちになったらいいね」という生の声を拾い上げることで自分事になり関わりシロが出てくるのではないか。まちをひとつにするのは難しいが、キーワードで思いつかななものもあるかもしれないし、子育て世代には生の声を聞いてほしい。時代が変わった象徴的なものもあるかもしれない。

事務局

ワークショップもある程度重点が出た後にお題として示せるものをもって実施したらよいのではないかと考えていた。

委員

意見を聞くのと、具体的なことを聞くのと2回やった方がよいのではないか。

10年経っているのでゴールを新しいものにしていきたい。

これまでの議論でキーワードは出ているのではないか。

事務局

人や誇りなどのキーワードを盛り込むことについては、事務局としても重要だと考えている。そういったワードを取り入れて将来像をつくることも考え方のひとつだと思う。プラスアルファでワークショップやパブコメなどで出てくるものを取り入れるやり方もある。

委員

感動と活力について、どんな感じなのかというイメージがつかない。

せっかくアンケート上位に安全安心というワードが出ているものをキャッチーにしてつかってはどうか

か。

委員

アンケートの将来の望むまちの姿で半数以上が、高齢者・障がい者・子どもが安心して暮らせるまちを前提として考えたらいいのではないか。

そこからどうするのか決めていく方がよいのではないか。年齢別に望む姿が異なっていたので、ニーズの差を埋めることもしていけないといけないのではないか。

委員

アンケートをとった上で全部考えていく方がよいのではないか。

委員

アンケートで安心して暮らせるまちというのを、10年後具体的に考えると、高齢者だけだとつらいし、仕事がまわって若い人がいる、教育もあって人がまわっていく。そうしないと10年後の北広島町はなくなるのではないかとおもう。アンケートの中から攻める施策という、みんなでこうだ！という付いてこいくらの施策を出した方がよいのではないか。

委員

結局総合計画をつくるのにどういうスタイルにするのか。総花にするのか、とがったものにするのか。重点事業は継続していくが、町の覚悟をみせる総合計画にしていくのがいいのかどうか。

いまのお話では、総花ではない総合計画というものが望まれるのではないか。

その視点から考えていく必要がある。いくらキーワードを出しても全部に当てはまるものではなく、とがったもので町はこの10年間でこれとこれとこれを絶対にやる！という意気込みがある総合計画であれば良いと思う。

いろんな問題解決の中でデジタルというものを組みこんでいけないといけないと思う。デジタルというキーワードはある。

委員

役場がやればよいというのは困る。町民が自分たちがこうしたいものを役場に応援してもらえないと生き残れない。

いままでの総合計画を置いておいたとして、町民がこのまちがどうなってほしい、そのために地域・産業はこうしたいなどをどう役場がサポートしてくれるのか。そう思えるような計画を作りたい。

町として覚悟を示すというのは、町民全員が自分たちがやるという覚悟を示さないといけない。自分事

に感じられる未来を描きたい。

委員

なりたい姿というのを想像できるようにやる。

委員

みなさんの10年後のイメージを聞きたい。

委員

今の計画書は行政がなになにするという計画書なので、それを町民がやりたいと思うことにしていく必要がある。町民ができることやスキルを還元できる。自分事にする仕掛けをつくった方が良い。

町ができる事は補助金を出す、場所を貸すなど。

10年度はこれからAIがすごいことになるので、地方に移住する人は増えると思う。魅力的なまちでないと来てもらえない。最近田舎に家を買ったり、2拠点生活をする人が増えていたり、自然が多い所にくる。友人が遊びに来て、北広島町の自慢をすると移住してこようと思う人もいる。10年後AIの時代を見据えて誰でも住める、来れる環境を整えておくことが大事。チャンスでもある。

委員

仕事面からいうと、2026年の情報発信で86人くらいの方が海外からも来られている。観光もだが、子どもを産む方も、自然の中で育ててよかった。子育てしやすいまちもあり得る。来る人がたくさんいるまちになってほしい。

委員

花田植も生中継をさせていただき、ドローンを飛ばした映像を見て移住される方もいる。協力させていただきたい。

広島市からバスで40～50分くらいで来れるのは魅力。実感している。

委員

目指せ住みよい町 No1。会社ではいま「未来を拓げる」というシンプルな言葉を掲げている。アンケートでも様々な意見が出ているので、それを使った住民目線の分かりやすい言葉にしてはどうか。

委員

田楽に外国の方も参加されており、中にいる住民は外に出ていきたいが、外からは来たいと思ってくれている現状がある。もうちょっとその辺の本音の話を聞いてみたい。

委員

いろんな災害や紛争がある中で、ゆるぎない地域を目指したい。自然資源などの恵みがある中で輸入などが無くても生きていける地域としては、北広島町は適している。外の人とまじりあうことは大事で、戻ることを強制はできない。

このまちにいると自己実現ができる。人数が少ないことも強みだと思える。

学校は地域に1つあってほしいので、増やしたい人数も学校が維持できるくらいという目標があってもよいかもしれない。

委員

役場だけでなく、民間企業でも沖縄在住、東京在住、北広島町職員がなんの抵抗もなくできる世の中になるのではないかな。できる環境、できる町になっていけば良いと思う。逆もある。北広島町に住みながら霞が関に行かずに国の職員である。など。ごく自然にできているまちであってほしい。

アクト南方というチームをつくった。自分たちで物事を考えて行動しよう。というもの。認知していただき、NPO や一社のような組織になってほしい。

自分事という話では、尼崎に視察に行った際に、地域活動が盛んで、歩道橋の色が朽ちたりしたときに、自分たちで色が塗りたい、塗る許可が出て万歳としている。北広島町でも自分たちで道路直してそのお金が出るなんて素晴らしいという。住民の考え方があるが、それを払しょくできるまちであってほしい。自分事で未来が語れるまちになってほしい。

委員

小さな地域では町内会が発足して、若い人が来てくれたが、こどもが集まって「とんど」などしたら楽しいが、10年後は見えないところである。

委員

10年後危ういといったが、10年前Uターンで戻ってきたときから可能性しかないと思っていた。自分事に置き換えながら仕事をしていくと活動が大きくなっていく。周囲から「絶対無理だ」と言われたことを、自分事として挑戦して実現させてきたプロセスや成果を地域として誇りに思いたい。

10年後も田舎がチャンスになってくる、みんなが乗っかれるようなキャッチーなフレーズがあったらよいと思う。

事務局

10年後に限らずその先も考えていく必要がある。個人的には結構若者が帰ってきて、にぎやかになってきているエリアもある。移住もそうだが、そこに育った子供たちが帰って来れる地域を創っていきたい。大人と子どもと一緒に遊ぶ環境があって、地域に愛着がある地域。職業的な部分や買い物などもある程度揃っている。全ての地域ではないが、基本的なこととして確保しないとイケないものだと思う。

そうやっていけば10年後20年後も安泰である。

行政的には基本的な生活部分、教育、医療、買い物について濃淡あっても確保していかないとイケない。行政だけではできないが、確保して、住んでいる人たちがどういう風に思ってイメージ化して作っていく、それを行政が支援して道筋をつくっていく。

いろんなビジョンをもとに行政も一緒になってつくっていったらと思っている。行政だけでは実現しない。

委員

総花的なものをしょうがないとして、「重点施策のパート」と「総花的なパート」の2部構成にしてはどうかという提案になっていたが、どうなるか。

事務局

2部構成にすることは、重点施策を一部に置いて、二部で総花にするかと考えていた。両方の意見があるのでその意見をどう集約するか。

まだ整理できていない状況なので、まずはこれを考えたほうが良いと思う。こういう形でやりましょうと決めてしまうと後で修正が効かないのではと考えた。

国の白書のように、PR的なパンフレット冊子と、後ろにつらつら書く仕様書パートというイメージではないが、確認だが、仮に「安心して暮らせるまち」というタイトルに対して、それはどんなものなのかというイメージでどう具体化していくかという議論になるということが良いか。

委員

いまあるものを無しにしてフラットに考えて組み直した結果、あまり変わらないという結果にもなりがちなので、一旦元のものをベースにして組み替えるというものを示していただき、それを叩き台として議論を進めたい。

委員

タイトルというより、理念というイメージ。実際町民含めた町がどんなまちづくりをしたいのか目標に

なる理念。それを皆さんに知らせるためにキャッチーな言葉を使うというイメージ。

いまの言葉をどうするかではなく、なにを目指すのかというものがほしい。

5. その他

6. 閉会あいさつ

課長

お忙しい中ありがとうございました。たくさんご意見いただいたものを考えていきたい。長期総合計画は町の根幹となる計画であり、重きをもって重厚な形での整理をしないとイケないが、わかりやすさも必要で、時間は必要かもしれないが、また示したいと思う。

7. 閉会